

業務用建物床面積の推移

平成25年度の業務用建物床面積は18億4,524万㎡と推計された。伸び率は前年度比0.6%増となった。

「事務所ビル」の床面積は4億8,361万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比26.2%を占める。伸び率は前年度比0.4%増となった。事務所ビル全体の約8割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積も、前年度比0.3%増と増加を続けた。

「卸・小売業」の床面積は4億7,233万㎡で、全体の25.6%を占める。伸び率は前年度比0.4%増となった。内訳では、卸・小売業の約85%を占める非木造の店舗は、同0.6%増と増加したもの、木造の併用住宅は同1.2%減と引き続き減少している。

「学校・試験研究機関」の床面積は3億6,481万㎡で、全体の19.8%を占める。伸び率は前年度比0.4%増となった。内訳では、大学が前年度比2.4%増、保育所が同2.2%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学（同5.1%減）、高等学校（同0.1%減）は減少傾向が続いている。

その他の5業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比1.3%増、「その他サービス業」は同2.2%増、「劇場・娯楽場」は同0.6%増となり、「飲食店」は横ばいとなった。一方、「ホテル・旅館」は同0.7%減となった。

(岩田 創平)



